#### 第10章 おわりに

#### 1 なぜ今「独学を支援する教材」が大切なのか?

- ・独学ができる=情報活用能力がある=自分の力で学び続ける素地がある。
- ・学習指導要領の改訂…「生きる力」(現代の諸問題に取り組む実践的な力,自ら進んで問題を解決する力) の育成を目指している。

## 2 「独学を支援する教材」を作ったことのメリット、デメリットは?

<u>・ メリット</u>

学ぶ側, 学ばせる側の双方に利点がある。

学ぶ側:どうやったら自分で効果的に学ぶことができるかを知る。

学ぶ方法を確かめる→学び方を工夫する→自分の学びを自分で確かめながら1つずつ身に付けていく 学ばせる側:どうやったら学びを効果的に支援することができるかを知る。

<u>・</u> デメリット

プリント教材から CAI 教材へ(自分のペースで学習できる。)

## 3 「教える専門職」にあるものに必要なものは?

<u>・</u> リーダーシップ

クラスをまとめ、生徒を学習活動に導くための力が求められる。

例)ディスカッション: 仕切る力(意見の整理, 議論をまとめる) グループ活動: グループ内のリーダーを育てるためにリーダーとしての見本を示す。

絶え間ない努力で自己研鑽

努力しなくても「クビ」にならないからこそ、プロであり続けるべきである。 探求の姿勢を持ち続ける。

• 成功的教育観

意図的教育観 教えようと努力していることを重視

教える意図があればいい。

成功的教育観 教える行為が成功しているかどうかを重視

学ぶ側が何を学べたか、学びを支援したか。

成功的教育観にたてば…「自分の意図がどのくらい成功したか」が気になる。

学びの目標を評価し、授業の役割をシステム的に検討することが必要となる。

 $\downarrow$ 

独学を支援する教材作りの考え方と等しい。

# 4 この本を使って復習するには?

- 1 教材作り・教材選びから始める。
- 2 最小限の計画を立ててから作る。
- 3 計画を十分練ってから教材を作る。
- 4 やってみたい作業だけを復習する。